

小山第三中生徒が病院見学

小山市立第三中学校の1年生31人が1月31日、キャリア教育の一環で城西病院を訪問し、病院を見学しました。同中学校の職場訪問は今年度で4度目。男子14人、女子17人の生徒が病院内をつぶさに見学し、質疑応答では、看護師の仕事を中心に熱心に質問していました。

この日、生徒たちは、オリエンテーションで看護師の仕事と病院全般の説明を受けた後、2グループに分かれて病院内を見学しました。透析センターや手術滅菌室、内科病棟、外科病棟、MRI、CT、検査室などを見学し、それぞれの部署の専門家から、仕事の内容について説明を受けました。

見学後の質疑応答では、看護部の藤田尚代部長と山中久美子師長が生徒たちの質問に丁寧に答えていました。生徒からは「1日に何人の患者さんが来るのですか」「救急車は1日何台来ますか」といった病院業務の質問から、「看護師になるため努力したことは」「仕事で一番大切なことは」「働くことの意義は」といった仕事に対する質問も出されました。2人は「患者さんが喜んで、元気に退院するのが一番の励み。患者さんの命を預かる仕事で、責任ややりがいのある仕事。みんなも夢を持って勉強してください」と励ましていました。

平成 29 年 2 月 2 日



看護師の仕事について熱心に質問

